

パブリックコメントの実施結果について

1. パブリックコメント実施概要

実施期間: 令和5年1月27日(金)から令和5年2月27日(月)まで

周知方法: 商業労政課窓口・各区役所市政情報コーナー、静岡市ホームページ
(報道機関に情報提供)

提出方法: 持参、郵送、FAX、電子申請のいずれか

2. 結果概要

提出いただいた意見書件数 173件(62人)

選択式設問の回答数 529件

3. 属性

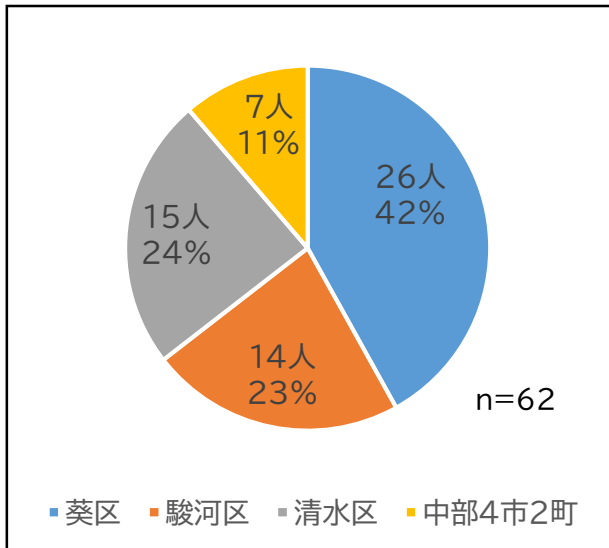
居住: 市内55人(葵区26人、駿河区14人、清水区15人)、中部4市2町 7人

年齢: 19歳以下0人、20代11人、30代25人、40代7人、50代7人、60代6人、
70歳以上6人

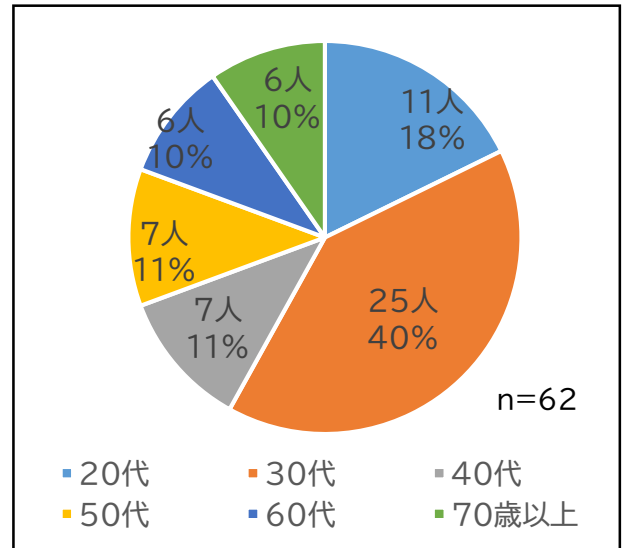
提出方法: オンライン50人、紙提出12人

職業: 会社員・公務員36人、自営業11人、専業主婦(夫)5人、学生1人、パート・アルバイト1人
その他8人

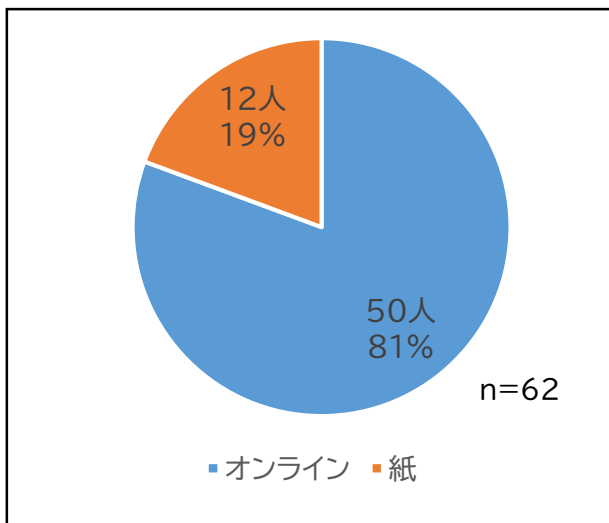
(1)居住



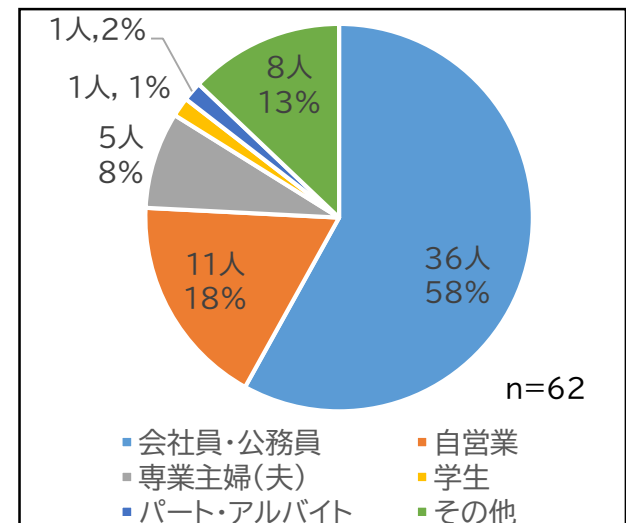
(2)年齢



(3)提出方法



(4)職業

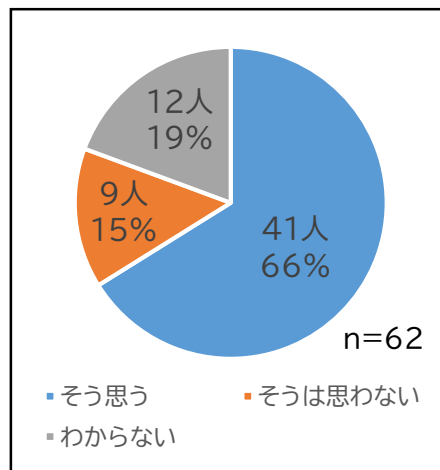
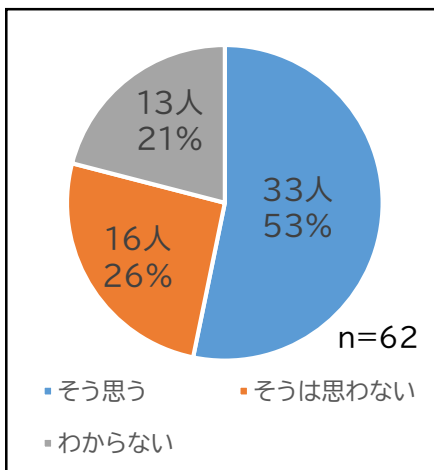
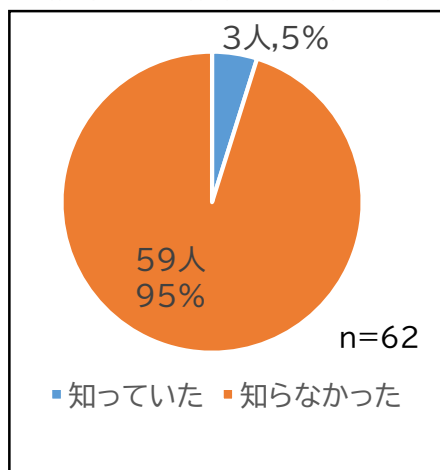


4. 設問1. 商業への関心について

市民一人当たり事業所数（小売業）が政令市1位であることを知っていましたか（経済センサス活動調査 2016年実績）

本市は買い物しやすいまち、飲食やサービスがたくさんあるまちであると感じますか

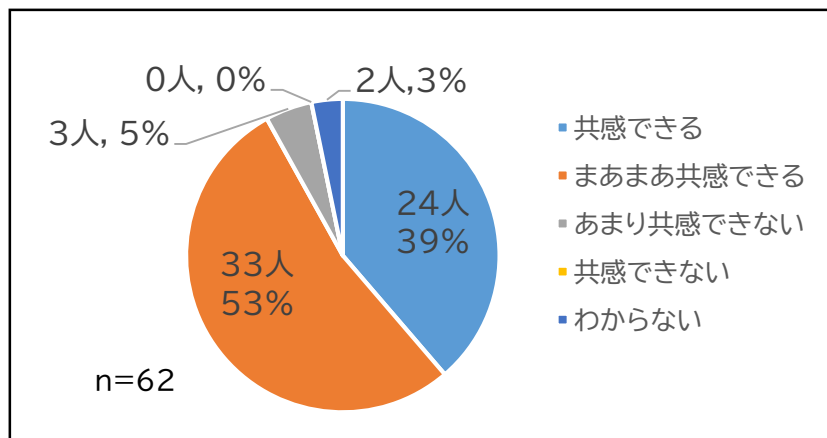
あなたは、地元の個店の商品等を日ごろから購入・活用したいと思いますか



【結果】

- ・本市の人口当たり小売事業所数が政令市1位の水準であることは、95%が知らなかったと回答している。
- ・買い物しやすいまち、飲食やサービスがたくさんあるまちと感じる割合も、53%と半数程度に留まっている。
- ・商店街や中心市街地の苦しい状況とは裏腹に、地元の個店の商品等を日ごろから購入・活用したいと思う割合は66%と7割近くを占める結果となった。

5. 設問2. 第2次基本計画(案)への共感について



【結果】

- ・共感できる、まあまあ共感できるが全体の92%を占めた。主な意見として、目指す将来像や政策への賛同や期待が寄せられる一方、地域性の考慮といった声も聞かれた。
- ・共感できない、わからないと回答した方は8%に留まったが、主な理由としては、ポイントを絞ったテーマ設定や特徴的な取組が無い等、本市独自の取組を求める声が見受けられた。

主な選択理由について

【共感できる・まあまあ共感できる】

- ・現時点の静岡の課題をクローズアップし、それに対する複数の取り組み方針が示されているから
- ・人口減少下で外から人を呼んでくることはとても重要だと思う。
- ・第1次計画の、明確な成果指標が設定されていなかったことや、社会情勢の変化を的確に捉えられていなかったことの反省が、第2次計画に反映され、より実効性の伴った計画案であるように感じました。
- ・地方都市は商業の種類が乏しくなりがちだと思います。多様な商業が生まれれば、多くの人に訪れてもらえ、商業振興に繋がると思ったからです。
- ・イラストイメージがよかった。まちというしっかりとした土台があつての商店街であり、個店であると思う。
- ・総論として方向性に共感が持てますが、地域性のような要素が少なく感じます。
- ・骨子(案)の体裁上致し方ない部分だと思いますが、施策の取組例について抽象的に感じます。

【あまり共感できない】

- ・まちなかに重点的には正しいと思いますが、もっと遊べる商業施設が欲しい
- ・「継続発展」や「行ってみたい」、「寄ってみたい」街としてプロデュースしたい意気は理解できるものの、基軸となるファクトが曖昧で、ポイントを絞ったテーマ作りが見えないため。
- ・静岡市の人口減少に加え、物価高騰、繁華街の高い家賃等、小売店舗が増えるとは思えない。

【わからない】

- ・抽象的な表現が多く、特徴的なものが感じられない

6. 設問3. 計画に対する意見・期待について

【主な意見】

・重点的取組にある、商店街の役割を見つめ直すに、とても期待しています。静岡市はまだ商店街が残っているほうだと思いますが、他市町だと駅前ですら商店街が壊滅的で、これでいいのだろうかと良く感じます。

商店街は、これまでモノを売るだけの場所ではなく、地域コミュニティを支える機能を担ってきたと思うので、今後も時代に合った何らかの役割を付加し、地域とともにある機能であってほしいと思います。

・まちなかの空洞化が進んでいるように感じます。中心市街地に活気が戻るような施策を期待しています。

・空き店舗の利用については、とても重要ですが持ち家の方は店舗から自宅に建て替えてしまうので、店舗利用が出来なくなってしまうという問題があります。貸店舗として改装、リフォームをしてもらえるような補助や仕組みが必要かもしれません。

・市街地を歩いていて感じるのは、ちょっとスマホで調べたい、メール返信をしたい、少しでも座って休みたいと思った時に座れる場所が無い事です。お店に入るほどではないからつい急いで移動してしまう。商店街の歩道にずーっと長いベンチを設置していつでも誰でも座ってのんびり出来る場所を作るのはどうでしょう？

・多様性は店主と市民と両側の理解が必要です。理解を深められる施策を期待します。

・基本政策、重点的取組を拝見したところ、このまち独自の魅力を対外的に発信していく中長期的なロードマップが必要ではないかと思えます。現代ではメディアは勿論、Web/SNSなどICT技術を駆使して、いかに他と差別化できるか、ローカルムーブメントとして話題に出来るかが重要ではないでしょうか。

・市民1人1人が自分のまちの宝を理解した誇れるまちづくりが進むと、交流人口の増加につながるのではないかと

【まとめ】

・計画の内容に期待する意見が多く寄せられた。空き店舗対策やベンチの設置等、具体的な提案を複数いただいたため、次年度以降参考にして事業を実施していく。

・一方で、静岡市らしさや独自の取組の必要性等、尖った取組への期待を寄せる声が聴かれた。今後、ホビーや桜えびなど、本市の地域資源を絡めながら、独自の施策を展開していけるよう、検討を進めていく

7. 設問4. その他商業を発展させるために必要なことについて

【主な意見】

・静岡市としての取組はもちろん、官民金での連携によるまちづくりをもっと活発化してほしいと考えています。また、「人が集まるまち」について、市民や事業者のニーズ調査をもっと広く行い、金融機関とも共有し新たな施策の立案等を共同で行うことが出来ればよいと思います。

・地元の個店の商品等を日ごろから購入・活用したいと思っていますが、個人的には、初見では、「入ってみたい」よりも「入りにくい」が勝り、結局、大型店舗等に気持ちが流れてしまいます。似たような意味かもしれませんが、個店の事業主の方は「入ってみたい」とは別に「入りやすい」を意識した取組が必要だと思えます。

・静岡市は商業のまちだと思います。商業だけで将来を描くのではなく、都市、保健、福祉、教育など他分野と連携することが必要だと思います。

・広域の連携も考えてはどうでしょうか

・他県から来る知り合いと駅前やまちなかを周ると「静岡って思った以上に色々ある」「意外と栄えている」等と言われることが多く、なかなか静岡市が知られていないと感じるため、今の時代的に他県の人にも魅力を知ってもらうための広告やSNS等での継続的な情報発信が必要と思われる。

ただ、市民目線で見ても、静岡市に他県から人を呼ぶ目的を作るのが難しく、コストコ(浜松)や沼津港、三島スカイウォーク、熱海伊豆の温泉等どうしても市外に連れていくことが多い。

お茶やイチゴ等の特産品はあるが、静岡市に行かなければ体験できないもの(例えば川越のような食べ歩きができる通りや原宿のような買い物に人が集まる場所等)が何か1つでもあればさらに「しずおかのおまち」がブランド化されていくのではないかとと思う。

・他の地域に無い革新的な取り組みを期待したい。

【まとめ】

・事業者、市民、金融機関といった様々な立場の方から多くのアイデアが寄せられた。

・福祉分野との連携等、農商工に限らない分野間連携や広域連携といった静岡市だけに囚われない連携の可能性も意見があり、次年度以降の事業検討に際し、より幅広い分野間で商業に活かせる情報を共有する方法を検討していく。

・設問4についても、静岡市らしさや独自の取組が必要という意見が聞かれた。

8. 意見の反映状況について

計画への反映状況	件数
ご意見を計画案に反映させるもの	7件
ご意見の内容が既に計画案に含まれているもの	87件
計画案には反映しないが、今後の取組の参考にするもの	79件
計	173件

主な意見と反映状況

項目	意見の概要	修正の概要
成果指標	<p>○市内店舗数について、小売・飲食だけなのは何故でしょうか。市民に身近な産業は福祉や教育含め多岐に渡ると思います。むしろそういうものが増えていく世の中かと思いますがいかがでしょうか</p> <p>○美容院やネイルサロン等も商業だと感じます。小売業や飲食業だけみるのは少し変だと思えます</p>	<p>ご意見の通り、生活に密接にかかわるサービス業については、商業として進捗管理していくべき業種でございます。経済センサス等の統計データを活用し、生活関連サービス業の店舗数についても把握していきます。</p>
基本方針Ⅱ	<p>○ローカルファーストという考え方がありますが、取り入れてみてはいかがでしょうか</p> <p>○地産地消の推進</p>	<p>ご意見の通り、地域内消費を促進する考え方も非常に重要であると考えています。内側の消費を高める取組も基本方針Ⅱの中で取り入れることを明記させていただきます。</p>
重点的取組①	<p>変化よりも「変革」、成長よりも「発展」の方が良いと思います</p>	<p>「変化」については、緩やかに変わっていくことも想定し「変化」という言葉を使用しています。また、「成長」については、量的成長ではない質的な「成長」を意図しております。ご覧いただく方に誤解を招くことがないように、質的成長である点を明記させていただきます。</p>
計画期間	<p>○8年は長いと思います。コロナや物価問題があるいま、もっと短い期間で作った方が良いのではないのでしょうか</p> <p>○新型コロナウイルスの感染法上の位置づけが引き下げられ、ウィズコロナの動きになってきていることや、3月から国際クルーズ船が寄港されるようになるなど、社会情勢の動向に柔軟に沿う形が望ましい。</p>	<p>ご意見の通り、8年間の中で様々な時代の潮流の変化があるかと思えます。柔軟に変化に対応して改訂していけるように、進捗管理や随時見直しをおこなうことを明記するとともに、第3期中心市街地活性化基本計画の終期である令和8年度にあわせ、見直しを実施していきます。</p>